

仏様の受難

突然ですが、コンビニとお寺さん。どちらが多いと思いますか？正解は後に譲りますが、今回はお寺さんの話です。この数年、全国各地のお寺を巡ってきました。特に信心が篤いわけではありませんが、訪ねたお寺は千カ寺近くになります。

長い歴史を誇る大寺にも、例外なく受難の歴史があります。その最たるものは兵火です。琵琶湖周辺では、織田信長により比叡山をはじめ多くの古刹が焼き討ちに遭いました。京都の奥地、丹波あたりのお寺では、「明智光秀がやってきて」と、つい昨日の出来事のように語る奥様もいらっしゃいます。また、兵庫県西部、播磨地方のお寺では「尼子の軍勢に攻められて、、、」などと言われ、出雲人としてなんだか申し訳ない気分にな

ったりします。

お寺の受難はこれだけではありません。明治維新の激動の中で廃仏毀釈運動が起り、多くの寺院が破壊され、仏像や仏具、経典が山野に放棄されました。特に維新の中核であった鹿児島や高知では、壊滅的な打撃を受けました。イラム原理主義者の仏教遺跡破壊に似た蛮行の嵐が、日本列島を吹き抜けたのでした。

そして今、過疎地を中心に多くのお寺が消えつつあります。とはいえ、お寺の数は7万7千、コンビニの5万7千をはるかに上回ります。ここ川津にも立派なお寺さんが4カ寺あります。春は巡礼の季節です。時には寺を訪れて仏様に向き合い、寺と地域の来し方に想いを馳せてみるのもいいですね。